

石川県建設産業担い手の確保・ 育成ネットワーク会議の 立ち上げについて

(一社) 石川県建設業協会

専務理事 辻 啓一

本日の議題

1. 調査内容

2. 教育機関へのアンケート調査

3. 専門工事業団体への面談調査

4. 実施事業に向けて

調査内容

①関係機関の連携と情報の一元化

②教育訓練機関の人材育成プログラムの調査

工業系高校、産業技術専門校、資格学校へのアンケート調査

③専門工事業における人材育成の実情と課題を調査

大工、左官業、型枠業、鉄筋業への面談調査

④ネットワーク立ち上げの準備

本日の議題

1. 調査内容
- 2. 教育機関へのアンケート調査**
3. 専門工事業団体への面談調査
4. 実施事業に向けて

① 高校生との意見交換会

- ・金沢市立工業高校
- ・県立小松工業高校
- ・県立羽咋工業高校



2013年7月4日(金沢市立工業)

②保護者との意見交換会

- ・保護者の声が
就職先を左右



2014年9月26日(金沢市立工業)

③人材確保・育成フォーラム開催

- ・高校生280名
(県内工業系4校)
- ・藤井京大教授
による講演会



人材確保・育成フォーラム



藤井教授

北川会長

つなげていくのが狙い。
第1部では藤井教授が「建設産

高校生に熱いメッセージ

石川県建設産業連合会（北川義信会長）は6日、金沢市の石川県地場産業振興センターで「いしかわの地域をまもる人材確保・育成フォーラム」を開いた。写真。金沢市立工業など県内の工業系4高校から1、2年生約280人が参加したほか、建設関係者や一般市民など合わせて400人超が詰め

石川建産連

かけ、講演した藤井聡京大大学院教授のメッセージに聞き入った。フォーラムは同連合会が、国の地域人づくり事業を活用し、県と共催した。「君たちの力が未来のふる里を築く」をキャッチコピーに、建設産業の役割や魅力を訴え、「未来を創り、ふる里を守る建設産業」の担い手確保・育成に

「建設産業の未来」テーマに藤井教授が講演

業の未来」をテーマに1時間半にわたって講演。14日に開業する北陸新幹線を引き合いに、基幹インフラが地域づくりに果たす役割や国土強靱化の必要性とともに、その担い手である建設産業の重要性を熱く訴え、「大局観を持った、（建設の）現場で働く大人になってほしい」と高校生にエールを送った。一般メディアではほとんど紹介されない経済社会の実相や建設産業の実態などを、笑いも交えながら説き明かす藤井教授の迫力ある論理展開に、高校生らはくぎ付けになっていた。

第2部では、現役の建設技術者や専門学校講師らによる、建設関係の資格取得などについての説明会や相談会が開かれた。また、会場の一角では建設産業を分かりやすく説明したパネル展示やプロモーションビデオの放映なども行われた。

同連合会の北川会長は、建設産業の社会的役割や働きがいや強調しながら、「高校生の皆さんは、卒業したら新しい石川の飛躍のため、地域の守り手として建設産業で頑張ってください」と呼び掛けた。

教育機関へのアンケート調査結果

- ①工業系の高専生・高校生の進路は
進学2割。就職8割（学校推薦が9割、縁故・公務員が1割）
- ②工業系の高専・高校は現場見学、出前講座などの連携を望んでいる
- ③県立産業技術専門校(七尾校、能登校)は訓練カリキュラムの共同開発が可能
- ④資格学校では独自の取組み
 - ・有料職業紹介部門の設置
 - ・企業と学校と連携した就職活動セミナー資格取得する場合、建設労働者確保育成助成金制度のPR・有効活用を要望

本日の議題

1. 調査内容
2. 教育機関へのアンケート調査
- 3. 専門工事業団体への面談調査**
4. 実施事業に向けて

石川県建築組合連合会(大工)

- 求人募集はしていない。親族に経験者がある者のみ入職している
- 組合が若手入職者のみ対象の専門校を運営（通年で週1回実施）
- 10代の職人は県内にのべ20名程度
- 県立の職業能力開発協会が鉋削り大会



石川県左官業組合連合会(左官)

- ・ 求人募集はしていない。親族に経験者がある者のみ入職している
- ・ 全国区の地元大手企業が職業訓練校として認定（自社社員のみ可）
- ・ 毎年10名程度の卒業生を輩出
- ・ 経験を積み独立する形態が残っている

石川県型枠工事業協会(型枠)

- ・ 職人の約半数は1人親方で技能継承は親から子へ
- ・ 求人募集をし、普通科高校生が入職するが、早期離職が深刻化
- ・ 今年度は普通科高校にPRに回る予定
- ・ 技能検定受験準備（実技）は各社で教えている

石川県鉄筋業協同組合(鉄筋)

- ・ 高校へは採用募集しているが、大きな会社にしか入らない
- ・ 技能研修・訓練は全鉄筋から講師を派遣してもらい年1回実施
- ・ 規模の大きい会社の技能工は、ゼネコンで研修・訓練を受けている
- ・ 業界の広報については、県主催の技能祭りに参加し、実技のデモンストレーションを実施している

本日の議題

1. 調査内容
2. 教育機関へのアンケート調査
3. 専門工事業団体への面談調査
4. **実施事業に向けて**

27年度 実施事業移行に向けて

1. 『担い手ネットワーク会議（仮称）』の開催
2. 入職促進に資する広報活動
 - ・ 「建設産業広報ポスター」の製作・配布（工業高校等）
 - ・ 情報交流の場づくり（各業種横断の意見交換会）
3. 技能者を対象とした研修・訓練事業の実施
 - ・ 各専門工事業団体へ教育訓練体系の構築要請
 - ・ 県内での教育訓練研修の実施

これまでの取り組みの様子

○ビジョン策定委員会



○県民との意見交換会



○ 県民による座談会



○女性技術者の会



○パネル・建築模型展



○ 資格相談会

